

第3回 令和4年2月7日 書面開催のまとめ

●昨年に引き続きコロナ禍で先生も大変だったと思う。管理職が知恵をだして、現場の先生方を大事にして、子ども達によく教えていただけるようにして新年度も乗り越えてほしい。

学校教育自己診断結果より

●学校教育自己診断で教職員の満足度 91.1%と生徒の満足度 79.5%との差が例年に比べても大きい。原因としてあげられることは何か。また、何か具体的な対策を考えているか。

○コロナの影響で授業が受けられない生徒もいるが、オンラインを活用することで生徒には授業内容を配信することができている。ただ、対面での授業ができていない分、生徒に満足感が出てこない可能性はある。特に3年生の差が大きくなっているが、修学旅行が開催されなかったことなども影響していると思う。本校の特色として地域へ出たの実習などがあげられるが、生徒もそれを楽しみにしていることが多い。コロナ禍のなか、実施できていないことも満足できていない要素になっている。対応策としてさまざまな工夫をしているが、生徒が満足できる内容をこれから検討し続ける。

●生徒のために何ができるのか？考えてほしい。金剛高校に保護者も期待を寄せている。

●進路指導について保護者も前向きで期待している様子が伝わる。自由記述で「情報提供してほしい」「個別に話し合える機会を多めに取って頂きたい」とあるので、もう少し丁寧に対応してはどうか。

●教室での服装について、換気で寒いのに防寒具を脱ぐ事について複数の意見があったが。

○学校教育自己診断後、すぐに対応を協議し教室内で防寒上着の着用可となった。

●生徒への指導に根拠があり、納得が得られればよいと思う。

人権問題への理解、社会的課題への関心について

●学んだことを行動に活かすことは大切ですが難しい。その場合、必要と思うことは2つあって、一つは、事実を正確に把握すること。できればその現場に出向く、見て、聞いて、感じて自分の力でしっかり知ること。もう一つは、自分の意見や感覚を安心して話せる環境や仲間の存在。共感してくれたり、ときに（優しく自分を認めてもらいながら）間違いを指摘してくれたりする仲間や先輩、先生の存在が自分を鍛えてくれます。共に行動してくれる仲間、間違っていたら「激励の喝」をくれる心の大きな先輩や先生の存在。金剛高校は、その両方を得られる場と思います。更に欲張れば、他人の痛みなどを理解し共感できる想像力を養うこと。これには環境整備が大切だと思います。その点もよくなされていると思います。

あとは、どしどし、場を積むこと。生徒さんは成長する力は十分に備わっていると思います。地域の人間としては、「場を積む」に貢献したいのですが……。少しずつやっていきたいものですね。

授業改善、主体的・対話的で深い学びについて

●学年が上がるごとに授業は難しくなって、生徒や先生の思うようにいかないものです。生徒と先生が共に考えて、具体的で明確で身近な（叶えやすい）目標設定をしながら学習への意欲づけ

をすることが大切でしょう。みんながみんな大谷翔平のような出来の良い大人な高校生ではありません。大人でも、上手に目標設定をしてやることで業績が上がるようです。少しずつですけどね。

環境について

●環境が子どもを育てるので、校内美化は大切。

学校経営計画について

●令和4年度の計画は、教職員がそれに向かってやる、より具体的に示せる取組みを設けてはどうか？

○了解。特に令和3年度未達成だった（△）評価の項目について改善する具体的取組みを令和4年度の計画に設ける。

●令和5年度にむけて「めざす学校像」【育てたい力】の二つめの文言修正をしてはどうか？（修正案）「傾聴し、それをふまえて自分の考えを的確に人に伝えるコミュニケーション力」

○令和4年度第1回の学校運営協議会にて対面で協議し、令和5年度計画に向けて検討していく。